



安曇野ふるさとづくり応援団

パートナー通信安曇野 第24号

発行:NPO 安曇野ふるさとづくり応援団
安曇野市穂高柏原1132-2 (有) ライフポート安曇野内
TEL ; 0263-81-1325

2013.4.5

URL ; <http://npo-furusato.way-nifty.com/azumino>

編集:木船

ごあいさつ



トピック

新生「応援団」について

澄み渡る空気を切って歩くここ安曇野、、、といきたいところですが、今年も多くの方が花粉症デビューの年だとか。春は私もマスク、ティッシュを手放せません。

でも悪いことばかりでもありません。この4月より、「信州ふるさとづくり応援団」が改組し「安曇野ふるさとづくり応援団」として新たに出発しました。

多くの方々との出会いと交流を通してこのまちをつくらっていかうと思っています。道祖神、清らかな日本一の水、屋敷林のみごとき。これからも住んでよかったと思うまちを、皆で力を合わせて作ってゆきましょう。(代表理事 等々力 秀和)

みみより情報①

ついに始まる「安曇野ふるさとさんぽ 2013春」!

「ふるさとウォッチング」参加者からのご要望にお応えし、過去の「ふるさとウォッチング」のリメイク版「安曇野ふるさとさんぽ」を今春よりスタートします。2時間、20名、を基本に4~5月に3コースで試行し、今後状況を見て順次拡大していく予定です。

4月13日は臼井吉見のふるさと堀金田尻地区、5月12日は千国街道の宿場旧保高宿地区、5月19日は偉大な先人と道祖神の里穂高白金地区。参加費は1名500円(中学生以下無料)で、事前申込みが必要です。

尚、ぬかくどおにぎりの振舞いやふるさとパートナーの割引特典はありません。また、スタッフの関係上定員に達し次第申込みを締切りますので、早めの申込みをお願いします。詳しくは別紙案内をご参照ください。



2009年3月8日に開催した堀金・中堀地区でのウォッチング。臼井吉見生家にて。

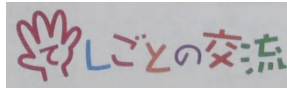


みみより情報②

「安曇野さんぽ市」を開催します。

創造の大地・安曇野で活躍する個性豊かな手しごと品のつくり手と、そのつかい手が交流を深める市、「安曇野さんぽ市」が5月5日(日)と6日(月)の二日間に渡って開催されます。場所は穂高交流学習センター「みらい」。宝探しをする気分で遊びにお越しください(詳しくは別紙参照)。また出展にご興味のある方は主催の安曇野さんぽ市実行委員会(TEL;0263-88-5563)まで。

【展示販売品】家具、木のおもちゃ、シルバーアクセサリー、トンボ玉、ステンドグラス、革小物、陶器、絵画、ポストカード、布小物、織物、人形の服、鉄工芸etc。ワークショップ・製作実演もあります。



みみより情報③

「安曇野 映画・ドラマロケ地MAP」が出来ました。



ふるさとづくり応援団の関連団体「安曇野案内人倶楽部」がこのほど『安曇野 映画・ドラマロケ地マップ』を制作しました。これは過去に安曇野エリアで撮影された映画やドラマのロケ地をマッピングして紹介するもので、地域住民に安曇野の景観に関心を高めてもらうことを第一に考えて作成されたものです。安曇野の個性溢れる豊かな風景を大切に守り育て、これからも素敵な映画やドラマの舞台に採用され続けるようなきっかけとして、このマップが活用されればいいと思います。

報告① 「第17回 ふるさとウォッチングin安曇野」を豊科・吉野地区にて開催しました。

去る3月24日(日)に17回目のウォッチングを豊科吉野地区にておこないました。県下トップの工業都市安曇野市を実現した歴史を物語る工場群、充実した高度小児医療施設であるこども病院、起源が江戸期にさかのぼる城館「吉野町館」の遺構や用水「新田堰」、さらにはおそらく今回初めて一般公開された「吉野の地蔵堂(右写真)」の聖観音菩薩像など、古いものから新しいものまでさまざまな発見をした一日でした。

でも最も印象深いのは、“よくても曇り”的な予報をはねのけて無風の晴天を実現した神通力か。寒くなく暑くなく、爽やかな春の空気も満喫できました。

今回も、吉野区長はじめ地域の多くの方々の協力のもと実現の運びとなりました。こころより感謝申し上げます。



報告② 「安曇野 屋敷林フォーラム2013」が開催されました。

屋敷林と民家を安曇野の重要な景観要素ととらえ、去る3月31日(日)、豊科交流学習センター「きぼう」でフォーラムが開催されました。基調講演では、民家再生の第一人者の降幡廣信先生が、気候特性によりこの地域に本棟造がもたらされた経緯などについて触れつつ、「民家が教えるもの」というテーマでお話しになりました。

トークリレーでは、長野県が今年度調査した「世界に誇る信州・ふるさと景観づくり」や「旧保高宿」の報告、そして建築士会が市に委託され調査をした1100に及ぶ安曇野市の民家調査の報告がありました。また屋敷林所有者の苦労話に80名の参加者が聞き入っていました。

地域の宝でもあるこれら屋敷林と民家は、市民の共有財産であるとの認識の上に保全や利用の仕組みをつくらないと、今後確実に消えていくものだとの思いを新たにしましたフォーラムでした。(主催/「屋敷林と歴史的町並みプロジェクト」代表・場々洋介)



約80名が来場。屋敷林の今後は安曇野の多くの世帯で共有するテーマ。保全に向けての容易でない取り組みについて、参加者の表情も真剣に。

お知らせ 「ふるさとパートナー」更新のお願い 《重要》

平成24年度「ふるさとパートナー」の会員期限が3月末で終了し、平成25年度の継続には年会費1,000円が必要となります。詳しくは同封のご案内を確認の上、是非登録の継続をお願いいたします。尚、今年度から「ふるさとウォッチング」の参加費が無料となる一方、新規入会者からは入会金1,000円をいただくことになりました。更新手続きをしないで一定期間が経過すると、再入会時に入会金が必要となる場合もありますのでご注意ください。